



月潟まつり賑わう

月潟まつりが23日の宵宮から24・25日の両日にかけて行われました。

宵宮の23日は、各町内がこの祭りの為にいく晩も苦心して作った力作の7つの山車が白山神社に勢ぞろいし、美しい夕日に照らされて一層輝きを増していました。そんな中で、山車を引っ張る子供達の元気な掛け声が街にひびき、活気のある月潟まつりのスタートを飾りました。また、同日の夜8時からは、商工会主催による大民謡流しと仮装



伝統の技を披露



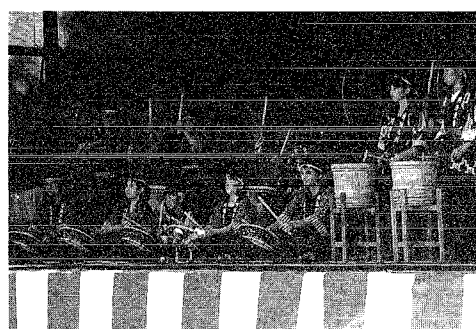
コンクール大会があり仮装では個々で工夫をこらし、見物客に驚きと大きな笑いをふりまき大盛況でした。

24日午前に小学校児童によるマーチングバンドパレードが行われ日頃の練習の成果を披露し祭りを盛り上げてくれました。午後からは、白山神社境内において土田芸能社の演芸や月潟太鼓・角兵衛獅子の舞いが奉納され、特に月潟太鼓と角兵衛獅子の舞い奉納の時間には、月潟村の郷土芸能を一目見ようと県内外数え

切れない程の人が集まりました。月潟太鼓の勢いとみことなバチさばきに歓声がわき、また角兵衛獅子の独特の衣装を身に付け口上に合わせて舞う伝統の妙技を披露するたびにどよめきと割れんばかりの大きな拍手が起きました。夜は夜店を楽しみ人々で祭りは最高の夜を迎えました。

25日は小雨まじりになりましたが23・24日と天候に恵まれて祭りが無事終了することができました。

祭りに、ご協力いただいた各関係者役員のみなさん、祭りに参加したみなさんご苦労様でした。



新潟交通「電車」廃止へ

来年3月末をめどに『代替交通機関はバスで』

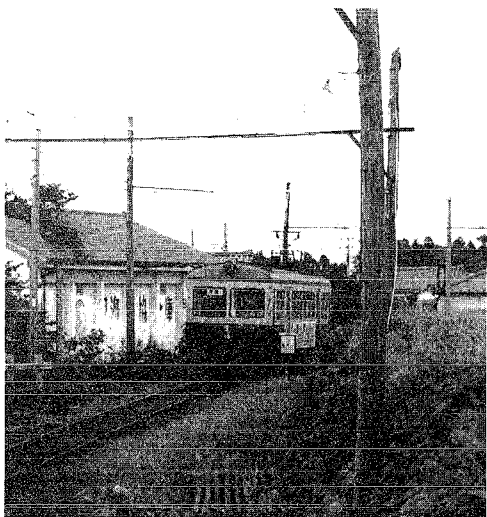
新潟交通電車線は、昭和8年に開業以来、沿線住民の通勤、通学の足として親しまれてきました。

県庁前駅から燕駅までの35.8キロを1時間20分で結ぶ電車は、快適で定時性も優れていたことから昭和38年のピーク時には年間630万人の乗客を運んだこともありましたが、そのころから道路網の発達とともに、利用客の減少が進み、平成8年

度にはついに100万人を割ることとなりました。

この間、合理化が進められると同時に、営業区間についても見直しが行われ、平成5年度には白山前―東関屋間及び月潟―東関屋の21.6キロ区間になりました。

このため、毎年度の赤字累計は約55億円にもものぼることとなり、昨年4月、沿線市町村長に



▲沿線住民の大切な交通機関として利用されてきた電車も、来年3月末で廃線に！

突然「平成10年3月末で全線廃止する。」との申し出があったところでした。

この申し出後、沿線七市町村では「新潟交通電車線存続対策協議会」を設立して各市町村議会、商工会、学校PTAなどの存続運動をバックに対応を協議する一方、長岡技術科学大学佐野助教を会長に五人の有識者による「検討委員会」にお願いして存続の方策についても検討してきました。

また、これと併行して、指導機関の新潟運輸局及び新潟県に指導と財政支援についてお願いを続けてきました。

しかしながら、その後も電車の利用客は減り続け、財政支援をお願いした県も「将来の見通しが立たない事業に県の支援はできない。」との回答となり、新潟交通(株)も協議会の企業努力の求めに対して「電車線を存続させるためには、今後23億円以上の設備投資が必要。また乗客数も前年比約10パーセント減少し、単年度赤字も2億円を超える見通しである。」と説明し、「一企業としては、これ以上の存続は無理。」として一貫して廃止の同意をお願いされました。

▼来年4月からは代替バスで



6月8日に開催された協議会と新潟交通(株)との協議ではこれらの状況から「存続は無理、廃止もやむなし。」の結論となり、廃止の時期も平成11年3月末を目途とすることで合意するに至りました。

また、この時点で夏休みに入る7月下旬から運行回数について三割程度の減便をすることも明らかにされました。

この合意を受けて7月1日に開催された協議会幹事会(沿線市町村担当課長で構成)では、今後の対応について協議した結果、協議会の名称を「新潟交通電車線対策協議会」とし、引き続き代替バス路線問題、電車廃

【別表】

月潟発		月潟着	
6:46	13:20	6:39	13:11
7:10	14:55	7:01	14:47
7:35	15:37	7:25	15:28
7:57	16:31	7:50	16:23
8:35	17:11	8:30	17:05
10:08	18:41	9:59	18:34
11:45	19:25	11:35	19:15
	19:52		19:44
			21:40

線跡地問題などを検討していくことを確認しました。

このあと新潟交通(株)からは減便後(7月27日後)の電車ダイヤ、来年3月廃止後のバス路線及びバス停などについて提案がありました。本村のバス停は、保健福祉センターを始発として味方村までは現在のバス停を利用するという事です。減便後の月潟駅の発着電車時刻表は別表のとおりです。

なお、この問題について、ご意見などがありましたら、役場・総務課までお寄せください。